

ID No.	239
研究課題名	IL-33 投与による肺高血圧症動物モデルを用いた疾患原因遺伝子の同定とその解析
研究代表者	生谷 尚士 (富山大学・客員講師)
研究組織 受入教員 研究分担者	中江 進 (東京大学医科学研究所・准教授)
研究報告書	
<p>肺動脈性肺高血圧症は難病であり、根本的な治療法開発には克服すべき難題が山積している。治療法開発の基盤を得るために、我々が独自に開発した肺高血圧症動物モデルを用いた研究を行っている。これまでの進捗状況は研究計画に沿っており順調である。</p> <p>平成26年度現在までに肺高血圧症の発症に関与する可能性がある遺伝子の選抜が完了している。IL-33 投与による肺高血圧症誘導時の肺組織細胞の遺伝子発現変化をマイクロアレイ法により解析した。遺伝子発現の変化(増加)量が2倍以上で、且つ、疾患の発症に重要な時期に大きく変化する遺伝子に着目し、5つの候補遺伝子を得た。これらの遺伝子は、酵素が2つ、転写因子が2つ、機能が未知なものが1つ、である。最終候補遺伝子は1~2つとし、平成27年度から遺伝子改変マウスの作製に取り掛かる。貴研究所中江進准教授のご指導の下、作製に着手する。</p>	